



## ダフニー オイルコートNo. 9

～潤滑油型防錆油～

### 1. 用 途

極低温用機械装置の潤滑油系内の防錆潤滑兼用油で、非鉄金属表面の光沢を保持します。研磨作業、水圧テスト等水分の影響を受けたことのある部品や完全な脱水乾燥処理の行えない部品の工程間防錆油として、効果的且つ経済的です。

曝露条件	包 装		無 包 装	
	普 通	苛 酷	普 通	苛 酷
参考基準	12ヵ月	3ヵ月	2ヵ月	1ヵ月

### 2. 本 質

軽質且つ低温流動性に優れる極低温性を有する精製鉱油をベースとして各種の防錆添加剤と酸化腐食防止剤を配合した潤滑油型防錆剤です。

### 3. 特 長

- (1) 水置換性を有し、極薄油膜を形成します。
- (2) -50℃前後までの極低温用の潤滑防錆油です。
- (3) 長期間循環使用できる酸化安定性を有します。
- (4) 中度の暴露条件に耐える防錆性を有します。
- (5) 非鉄金属部品に対しても十分な防錆性を有します。
- (6) 防錆油膜の除去は極めて容易で、アルカリ、乳化系洗剤、石油系溶剤等いずれによっても脱脂処理が出来ます。

### 4. 相当規格

JIS規格	MIL規格	備 考
JIS K 2246	MIL-L-644B (P-9)	60 スピンドル油相当

## 5. 使用上の注意

(1) 前処理を徹底してください。

発錆の危険をなくするために部品の洗浄や脱水を充分実施ください。それだけ防錆期間が長くなります。

(2) 防錆油を塗布した部品は被膜を汚損したりすることのないように包装するか、または覆いをかけてください。

(3) 包装紙の選択については次の点を御参考下さい。

① 耐油性のこと

防錆油が吸いとられると防錆力が低下します。

② 中性のこと

防錆油はアルカリや酸の影響を受けると防錆力が極端に低下します。普通の紙は酸性です。

③ 耐湿、耐水性のこと

普通の紙は空気中の湿気を自由に通します。それだけ発錆の危険が大きくなります。

(4) 塗布に際しては次の点にご配慮ください。

① 循環、浸漬法を採用される場合は水分等異物の混入を防止するため、対象系内のフラッシングや部品の前洗浄を充分に実施してください。また清浄ろ過装置を設備し、一定時期に全面更油することが必要です。

② 噴射法では圧縮空気を用いますが空気中の水分除去に注意しなくてはなりません。

③ 刷毛を使用するときは抜け毛しない丈夫で清浄なことが大切です。

## 6. 荷 姿

200Lドラム缶, 20Lペール缶

## 7. 代表性状

項目		分析値
密度	(15°C)g/cm <sup>3</sup>	0.8600
色相	ASTM	4.0
引火点	(COC)°C	156
動粘度 mm <sup>2</sup> /s	@40°C	12.0
	@100°C	2.7
流動点	°C	-45.0
銅板腐食(@100°C×3h)	h	1(1a)
水置換性試験		合格
湿潤試験	h	200以上(A級)
塩水噴霧試験	h	300以上
危険物分類(第四類)		第三石油類

- 本商品の取り扱いについては、当該油種の「製品安全データシート」(MSDS)及び容器に記入の取り扱い注意事項を十分に熟読の上、ご利用下さい。
- 「製品安全データシート」は、ホームページ(<http://www.idemitsu.co.jp/lube/>)からダウンロードできます。
- ダウンロードできない場合には、製品購入先にご用命願います。
- 掲載の性状、性能等は弊社試験方法による測定値や知見であり、正確さや完全さを保証するものではありません。予告なく変更されることがあります。

出光興産株式会社 潤滑油二部 TEL:03-3213-3146

潤滑油・グリースのお問合せは <http://www.idemitsu.co.jp/lube/> から「お問い合わせ」まで